



在京古高同窓会 会報 第2号 〒150 東京都渋谷区渋谷 3-2-13 第2平野ビル 302号室 芙蓉通商館内 ☎ 406-1585

組織強化へ熱論の懇談会

中軸は同期生の連携!!

在京同窓会は四月十五日、東京渋谷区の信陵会館（福島大経済学部卒業生の施設）に昭和九年卒（古中33回）から五十年卒（古高27回）までの十六人を集めて懇談会を開き、同窓会強化の方策を主要テーマに約三時間半にわたり、話し合いました。この懇談会は、三月の役員会方針に基づき、四十年卒以降の「若手」を中心に組織強化の在り方を探る、という趣旨で開催されたのですが、期待通り、活発な意見が次々に出され、同窓会を大いに盛り上げよう」との基本方針で一致し、随時この種の懇談会を重ねて具体策を検討していくことを決めました。

懇談会は「私にとっての古高とは」という母校論から始まり、特に四十年代以降の卒業生から「伝



「螢火照書」映雪読書の故事に由来する。の図案は、古中時代の大正末期から精勤章として用いられた。一年皆勤者は銅製、二年以上は純銀製の襟章を授けられ、学年が進めば裏に二年精勤、三年精勤などと刻したものと交換してもらった。

螢雪章の由来

昭和二三年、新制高校に改まった際、「中」の字を種穂で囲んだそれまでの校章に代わって、螢雪章がシンボルとなったのである。 遅刻が一回でもあれば学年末に返上という厳しさ。卒業時にはメダルの形で贈られた。



「螢火照書」映雪読書の故事に由来する。の図案は、古中時代の大正末期から精勤章として用いられた。一年皆勤者は銅製、二年以上は純銀製の襟章を授けられ、学年が進めば裏に二年精勤、三年精勤などと刻したものと交換してもらった。

会員の現況と「年会費納入状況」

◆ 会員数 一、四四七人
◆ 年会費納入者数 五二九人
二千人をはるかに超えることとみられる首都圏の同窓生のうち、会員数は一、五〇〇人近くにのぼります。各卒業年度の会員数で最も多

いのは、昭和三〇年卒の七五人。これに二七年卒（六五人）、二九年卒（六四人）、二八年卒（五六人）、三七年卒（五四人）が続いています。四〇年代のほとんどが二〇人台にとどまっている中で、四七年卒が五二人と群を抜いているのが注目されます。 大正四年から昭和十九年卒までは、ひとケタから一〇人台ですが、昭和二〇年卒になると一気に四〇人に増えています。二〇年代卒の大半は、三〇人台から六〇人台になっているにもかかわらず、二二、二二、二三年卒がひとケタどまりなのは、学制変更など「戦後」という事情からなのでしょう。 全会員数に対する年会費納入者の割合は三五・二%とやや低調です。

会員の卒業年度別分布 (平成元年5月末日現在)

卒業年度	会員数	卒業年度	会員数	卒業年度	会員数	卒業年度	会員数	卒業年度	会員数	卒業年度	会員数	卒業年度	会員数	卒業年度	会員数
T 4	1	14	5	10	2	20	40	30	75	40	20	50	20	S 27	2
5	0	15	6	11	9	21	5	31	64	41	24	51	11		28
6	1	S 2	5	12	13	22	8	32	48	42	29	52	18		29
7	1	3	9	13	6	23	9	33	48	43	28	53	15		30
8	3	4	5	14	13	24	32	34	51	44	32	54	7		31
9	3	5	5	15	13	25	49	35	49	45	22	55	7		32
10	0	6	4	16	20	26	42	36	35	46	25	56	4		33
11	1	7	12	17	17	27	65	37	54	47	52	57	2		34
12	1	8	10	18	15	28	56	38	30	48	23	58	0		35
13	3	9	16	19	13	29	53	39	36	49	16	59	0		37

母校はいま

不振の進学状況 東北大合格は5人

母校卒業生の今年の進路状況は、年は気仙沼高と並ぶ県下十一位と別掲の表で明らかかなように、大学進学には憂うべきものがあります。

浪人、現役合わせた合格者延べ人数は、三四三人、うち国公立大が六七人、私立大が二六七人。現役についてみると、国公立大の合格実数がわずか一九人、合格率が二・八%、私立大の延べ合格者数は七七人、合格率が四・五%と極めて低調です。

東北大合格者の多寡は、その是非はともかく県内高校の学力水準を判定する有力指標の一つになっていますが、この合格者は五人(浪人二人、現役三人)。しばらく前には、仙一、仙二、一女に次ぐ程度は、合格者を出していましたが、今教師陣の対応、生徒、父兄の考え

不振の原因について大槻校長は、「三年生になると選択科目が増え、受験勉強に充てる時間が多くなるユニークなカリキュラムを消化し切れていない。高校入学時の学力差も大きい」などと指摘しています。しかし、各種公務員試験に九九人が挑戦しながら実際の採用者は九人とどまり、民間企業には二人が受験し、二三人の合格です。

一方、就職の希望先は、山田弘志教諭(同窓会事務局長)によると①地元志向が強い②公務員を望む父兄が多い、などの特徴があります。しかし、各種公務員試験に九九人が挑戦しながら実際の採用者は九人とどまり、民間企業には二人が受験し、二三人の合格です。

方などさまざまな要因がからみ合っている模様で、地元で問題視する向きもあるようです。

大槻校長は「天下の古高と言われながら現実には厳しい。悪くても県下で六、七位になれる高校と思うのだが」と話しています。

同校長の言にもあるように、同窓生は、気負いを込めつつ「天下の」、あるいは「名門」といった形容詞を母校につけていたことを記憶していると思いますが、こうした呼称は過去のものになりつつあります。

同窓会本部役員名簿

会長 今野慶太郎 副会長 米城一善、日野恭一郎、千坂侃雄、佐々木源一郎、吉田和郎 監事 穴戸市太郎、松谷泰男、佐々木康雄 常任委員 佐藤茂正、早坂崇、佐々木龍樹、高橋亨、佐々木一郎 委員 佐藤乙夫、大曾根富見夫、菊地二郎、保科良治、豊島陽一郎、成田恒男、加藤晴彦、森谷勇一郎、鈴木寿郎、渡辺久雄 事務局長 山田弘志

新校長に大槻勇さん

母校の庄子典男校長が三月に定年退職し、大槻勇(おおつき・いさみ)さんが岩出山高校長から四月一日着任しました。

大槻新校長は昭和十九年四月、旧制古川中学に入學、約一年八か月在學して石巻中学に転校、新制石巻高校を経て東北大教育学部を二九年に卒業。第一女子高教諭、県教育研修センター指導主事、第二女子高教頭などを歴任して化学を教授、あるいは教育行政にたずさわり、この間、宮城教育大非常勤講師を兼任。六〇年に日本化学会化学教育有功賞を受けるなど化学教育界の逸材。桃生郡北上町出身、七歳。



大槻新校長は昭和十九年四月、旧制古川中学に入學、約一年八か月在學して石巻中学に転校、新制石巻高校を経て東北大教育学部を二九年に卒業。第一女子高教諭、県教育研修センター指導主事、第二女子高教頭などを歴任して化学を教授、あるいは教育行政にたずさわり、この間、宮城教育大非常勤講師を兼任。六〇年に日本化学会化学教育有功賞を受けるなど化学教育界の逸材。桃生郡北上町出身、七歳。

【国公立大】	1314510471412211311231
【短大】	11316
【文部省外大】	11113
【私立大】	111223516712123261
【まとめ】	浪計就職格者23(実採用19)131
進学	現浪計就職格者23(実採用19)131
国公立大	23446767
国公立短大	3333
文部省外大	033
私立大	77190267
合計	103240343

【国公立大】	1314510471412211311231
【短大】	11316
【文部省外大】	11113
【私立大】	111223516712123261

【国公立大】	1314510471412211311231
【短大】	11316
【文部省外大】	11113
【私立大】	111223516712123261

【国公立大】	1314510471412211311231
【短大】	11316
【文部省外大】	11113
【私立大】	111223516712123261

【国公立大】	1314510471412211311231
【短大】	11316
【文部省外大】	11113
【私立大】	111223516712123261

【国公立大】	1314510471412211311231
【短大】	11316
【文部省外大】	11113
【私立大】	111223516712123261

青沼康男税理士事務所

青沼不動産鑑定事務所

税理士 青沼康男 (S・19卒)

事務所/東京都港区芝4-6-16ライオンズ三田805
〒108 TEL. 03-452-2004

自宅/〒233 横浜市港南区野庭町2498-33
TEL. 045-844-3674

三峯工業株式会社

(S・31卒)

代表取締役 片平司朗

東京都江戸川区北小岩6-10-1
TEL. 03 (672) 1146 (代)
FAX. 03 (672) 1147

懇談会

★ 出席者 (敬称略、数字は卒業年)

- 多藤 省徳(9) 伊藤 守治(9)
- 青柳 勲(9) 三沢 吉満(26)
- 佐藤 広(29) 片平 司朗(31)
- 尾崎 章(31) 佐藤 公哉(32)
- 宮野 貞司(34) 桃沢 克彦(37)
- 古内 晋典(40) 伊沢 正雄(44)
- 高橋 修一(44) 島山 英洋(45)
- 佐々木徳雄(47) 岡崎 裕哉(50)

(司会は佐藤公哉さん)

た。選択したわけではない。もつとも朝鮮にいたころ、(笑)たちが卒業した学校なので先生方からは「今度はお前か」なんて言われたね。

進学の選択肢が少なかった

青柳 当時、通学できる距離にあったのは、古中、加美農、小田農林だけだった。世界不況の時代に中学によく入れてもらったと、私などは有難く思いましたよ。

佐藤(広) 大崎大学と言われたぐらいだったし。古川工業に行

くなら別だが、仙台の高校へ、という感じでもなかった。選択肢が少なかったということかな。

高橋 団塊世代の最後の方で、

受験倍率が三、四倍とレベルが高かった。下駄に腰手ぬぐいでパンカラのイメージ。残念なのは、男子校のせいで女性と接する機会がなかったことですね。(笑)

エリート校に

変わりははないが

片平 古川市の出身だから回りは卒業生ばかり。入れなかったら近所に変な目で見られるような雰囲気だった。当時から予備校化していたのかなあ、夏休みには選抜の特別講習を受けた。

佐藤(公) 大崎管内では進学先のターゲットだったことに間違いはないね。

片平 入学して一番うれしかったことは、

鳴子とか郡部出身者と友達になれたことだった。

尾崎 大崎のエリート校、中心校という構図はいまも変わらないんじゃないか。

佐々木 二年生の時に私服になった。制服から切り替わった理由は、要するに仙台一、二高がそうしてるからということだった。

地盤沈下はなぜなのか？

古内 卒業後、母校を訪れたのは、校舎が新しくなったというので見に行っただけだが、四十歳を過ぎると母校が懐しくなってくる。

伊藤 校舎の掃除が悪くて汚ないね。

多藤 それはしつけがどうのこの

うの問題じゃなくて、時代が変わったせいじゃないか。

佐藤(公) 学校がすごく荒れて

た。仙台一高と同じなのにビックリした。学校当局も生徒も無責任になって目指す大学に入れたいという雰囲気すべてを変えた感じだ。

佐々木 東北大合格者がいまは

五、六人で地盤沈下と言われている。われわれのころは二十人ほど入った、優秀なのは五、六人だけじゃなくてもっといるのだからうが。古高に入ってから勉強しなくなっているのかな。どうもわから

伝説とパンカラに誇り

高橋 木造の伝統ある校舎で勉強できることに誇りを感じていた。後輩に伝えようと床をみがいたこ

ともあるんですよね。そんな中から古高精

はぐくまれたような気がする。鉄筋コンクリの校舎になって伝統が途切れた感じがあるのかなあ。

伊沢 演劇部にいたが、部室にクギを打ったりベッドを作ったり、勝手に改造したのだから愛着を持っていて。コンクリの校舎だと高校時代は単なる「通過者」になっちゃうのかもしれない。精神的なものに残りにくいんじゃないか。

古内 先輩、後輩のきずなが強

かった。「パンカラはカッコいい」という理念がありましたね。この「カッコ悪い」と思いはじめたらすべてが崩れてしまう。仙台から北のエリート校という考えがあったし、校歌にしても県下一の気持ちをいまだに持っている。

島山 現代気質というのか、先輩から受け継いだ伝統が今はまるでない、あるいは通じなくなってる。出身の柔道部を訪ねても、面倒を昔みたものからあいさつはなしいし、言葉もかけられない。質実剛健さもなくなってる。高校の学区が狭くなった影響が多少あるんじゃないか。

工場廃油

のことなら
大小にかかわらずご相談下さい!
お買取り出来るものもあります。
芙蓉通商 代表取締役 青柳 勲
《事務所》 (S・9卒) (在京古高同窓会事務局)
〒150 渋谷区渋谷3-20-13 第2平野ビル302
電話 03-406-1518

(株)三多摩不動産 (有)三和商事

代表取締役 三浦 哲夫
(S・30卒 小牛田出身)
〒187 東京都小平市美園町1-33-1
電話 0423-41-4041(代)

しないのも同窓会沈滞の一因かもしれないね。

片平 それよりも、後輩に在京同窓会の存在をアピールするにせよ、われわれの組織がまずしっかりしないといけない。

尾崎 古川の同窓会本部だけに期待しちやよくないね。在京同窓会を活発にするために、卒業生が自由に集まれる同窓会館のようなスペースを東京に確保したい。これが究極の理想だ。同窓生だけの力で実現できなければ、他の組織にも参加してもらおう。「古川連合」で設置する手もあるんじゃないか。

— 年次で違う同期会活動

佐藤(公) 東京での同期会活動はあるか。

高橋 忘年会を一昨年やり、それ以前も二回ほど集まった。

佐々木 古川で五年に一度やっているが、東京ではまだない。

佐藤(公) われわれは二十年近くやってないなあ。「やろうやろう」と五、六人集まっては準備会みたいなことをやっているが、いつも準備会で終わっている。(笑)

佐藤(広) 古川で五年に一度やっていると。東京では同窓会総会のあと二次会を同期でやる程度だ。

宮野 大崎各地域のグループは影を潜めているようだが、中新田の成徳団は健在だ。同期会の方をどう活発にしていけるか。卒業年次ごとに一、二人中心になるのがいい。同期会はやってみたい。ウソは言いませんよ。必ず

うんだがね。

古内 われわれの同期会は全くない。「あいつ今は何やってんだろう」と思うことがあるし、同期会をやりたいとは考えているんだが。...

佐々木 知り合いの仲間とはやっつてるが「みんな集めてやろうや」というところまでいっていない。

佐藤(公) 若い人たちの同期会はあまり活発じゃないということかもしれないね。

— やれば楽しい同期会

片平 三十年ぶりに同期会をやったら、判明した約七十人のうち三十五人が集まって盛会だった。そのキツカケは昨年の在京同窓会総会で「やろう、やろう」となった。

佐藤(公) 般に閉じこもっているはやれないということかな。

片平 踏ん切りが大事なんですよ。この懇談会出席者の中の四十年代卒、五十年代卒を中心になってもらえば同期会が発展するんじゃないかな。

伊藤 参考までに言うとう在京同窓会役員は急いで選定したので、必ずしも「私がやりたい」という人ばかりじゃない。そのへんがわからないままに選定しちゃったんですよ。

片平 だからこそ各年次で「やりたい」という中心人物を探したい。同期会はやってみよ。絶対楽しい。ウソは言いませんよ。必ず

成功するから。同窓会の基礎は同期会にある。

尾崎 みんなの話を聞いて、母校への思いがある、集まりたい、という気持ちがあることが確認できた。

— 声かけ合う雰囲気作り

伊藤 私たちの場合、寄るとさわるとクラス会をやるんだね。家内から「いったい何してんですか」なんて言われている。(笑)

佐藤(公) 同じ職場で同窓生が数多くいるところがある。会社内でも声をかけ合えば集まるんじゃないだろうか。

片平 声をかけ合う雰囲気をまずここで作ろうじゃないか。賛成してもらえますか。(賛成の声)

伊沢 ただ、熱心な人だけがしょつちゅう声をかけられてもシンドイ。「ここぞ」と思うときには動員できるが、どの会合がそのタイミングなのか測りかねている。

片平 名簿作りにしても、隠れた名前を拾い出すには、このような懇談会を数多く開いて、参加者には責任感をもってもらい、ほかの人に協力を呼びかけていく。これでどうですか皆さん。(賛成です)

佐藤(広) 同窓会総会にしてもただ開催案内の葉書を出すだけじゃなくて、小委員会をしょつちゅう

う開いて同窓生を発掘しながら総会を盛大に開く。そうして「心の琴の：」を歌えば気分が大いに盛り上がるよ。

— 総会成功へ魅力の企画を

佐藤(公) 総会にいったい集めるのはいいが、どう総会をもっていくのか、そのアイデアは。...

片平 それを皆で話そうじゃない。

高橋 総会に出席しての印象だが、久しぶりに来た人は、翌年も参加する人と参加しない人に分かれてしまう。期待と不安で出席するのだろうが、期待の部分に込えられるものがないと次は出てこなくなる。

畠山 同期生や知人が出席してないと翌年は恐らく欠席するかもしれない。総会で身の置きどころがなくなりすから。

片平 私も最初の総会では「これは大変な会だな」と思った。大変、というのは良くない意味です。先輩に頭ばかり下げなくちゃいけない。(笑)

各年次から少くとも五人はいいいと参加しにくい。

— 年次順送りの幹事制も一案

佐藤(広) 私の出した福島大は、卒業年次ごとに順繰りて同窓会総会の幹事をやっている。幹事に当たった年次の活動がこれで活発になっていく。の方法も同期会活性化の一つになるんじゃないか。

...

有限会社

丸栄室内

〒115 東京都北区神谷1-3-2 神谷堀公園ハイツ201

鈴木和夫 (S・31卒)

TEL. 03-912-1013
FAX. 03-912-7042

森谷建設株式会社

代表取締役

森谷侑一 (S・20卒)

〒336 浦和市大間木2395
☎ 0488-74-2610

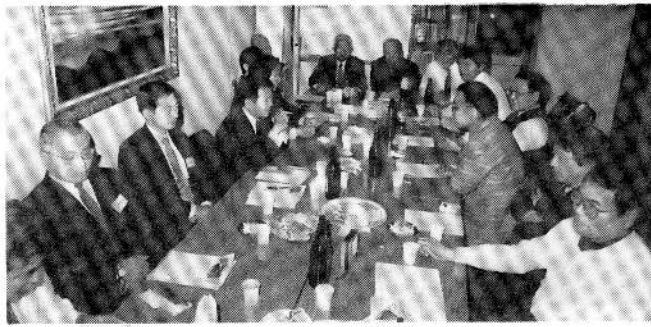
尾崎 われわれの総会の幹事役も例えば高校一回卒からスタートさせてはどうか。それがキツカケで同期会が盛り上がるかもしれない。まずスタートさせよう。

同窓会か職場優先か

佐藤(公) 私の同期生にも「大学時代の連中とつき合った方が仕事上のメリットがある。古高の同期会にはそれがない」と言うの聞いた。しかし、わが同窓会も活用の仕方はある。同窓会に期待を寄せられることが大事だ。

片平 現状は古内さんの意見の通りだろう。それについても「同窓会はなるほどいい」と思ってもらえる雰囲気を作らなくちゃいけない。

(伊沢さん撮影)



伊藤 アピールするような内容の同窓会にしなければ。各世代の期待やニーズを把握しないと焦点がぼけかねない。「同窓会に行ってみただけどつまんなかったなあ」ではまずい。「行ってよかった」と思う企画が大事」という意見はもっともと思う。

高橋 総会で知った顔がいなくてポツンとすることもあるだろうから業種別の名簿を作るのも一つの方法と思う。

佐藤(公) 総会の中で名刺交換する機会を設けるべきじゃないか。

伊藤 社長も平社員もなく肩書抜きて和気あいあいとした総会にしたい。偉い人に花のリボンをつけさせるのもやめたらいい。

片平 古高のパンカラ精神でやろうじゃないか。

佐藤(公) それでいきましょ。そのための組織作りを片平強化委員長よろしく。(爆笑)

まず同期会をやる

三沢 こっちから人を集めるというだけでなく、例えば総会で初めて顔を合わせたら友達になろうと自分から積極的に打って出る必要だ。

佐々木 みんな一緒になってつき合えば勉強になりますよ。

青柳 飲み食いだけでなく、なにかメリットがなくちゃなあ。

片平 企画委員会などが設置されてるが、活動強化のために再発足させてはどうか。

青柳 この二年間は、基盤整備の期間ということをやってきた。

会報、名簿の発刊と組織強化を優先課題にしてきたわけだが、これが充実したら、ゴルフなどを企画していくということどうかな。

沢山のことをいちどきにやれるだろうか。まず卒業年次ごとのクラス会を組織強化の第一目標にしてほしい。

尾崎 同期会はぜひともやってほしいね。

三沢 今日の懇談会の参加者に欠席者を加えて、また懇談会を開いてはどうだろう。(そうしましやう)の声)

伊藤 鉄は熱いうちに打て、だ。

「同窓会館」

設立を目指そう!!

在京同窓会が、さまざまな施設を転々としながら会合や作業を行っている現状から、本会報で紹介した懇談会の中でも提言があったように、「在京同窓会館」を持ちたいとの声が同窓生の間で高まっています。

そうした折、同窓生でもある千坂古川市長は三月の市議会で「古川東京事務所」設立問題について「副県都を目指すなら検討する時期だ。市単独でやるか、広域の範囲でやるか、他の例を調査しながら早い機会に結論を出す」と検討する旨を表明しました。

「在京同窓会館」といっても必ずしも独立した建物を持つということではなく、会合、懇親など言わばクラブの機能を果たすスペースを指しています。いずれにしても、われわれ独力で「会館」を確保することが難しければ、古川の東京事務所内にその場を得ることも一案でしょう。この場合、在京同窓会としては同事務所設立に積極協力する必要があります。設立へ向け、市当局を支援する態勢をとりたいものです。同窓会活動強化のために「会館」実現を目指しましょう。

会員の消息・近況

◆遠山仁一さん(昭25 五七歳) 在京同窓会副会長 宮地鉄工社長に元年二月二十二日就任。

◆佐藤進さん(昭26 五六歳、在京同窓会常任理事) 東急レクリエーション専務に元年三月二十八日就任。(佐藤さんが会報第一号掲載の役員



名簿から漏れていました。お問い合わせをお願いします) (会員の昇進、転勤、訃報などの情報をお寄せください)

《次回総会のお知らせ》

今年の総会は10月中旬

母校近況のビデオ放映、螢雪章染め抜きの手拭い配布など、老いも若きも楽しめるよう趣好をこらしますのでご期待ください。なお日程など詳細は九月上旬に案内状を発送し、お知らせいたします。昨年を上回る大盛会にしましょう。

名簿予約受付中

次回総会を目的に在京同窓会の新名簿(千五百円程度の見込)を発行します。事務局にお申し込みください。

「古高小史」②

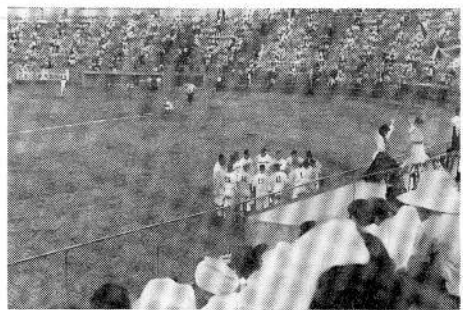
とどきかけた 「甲子園」

佐々木徳雄のりお

在学中の昭和四四年から四六年にかけての母校運動部は、柔道、バスケットボールが全国総体に出場するなど輝かしい時期でしたが、わが野球部も県下で全盛を誇った仙台商業と互角に渡り合ったり、「甲子園」出場まであと一歩と迫る活躍ぶりで、黄金時代を画したと思っています。

入部した四四年は、夏の甲子園県予選で、現ヤクルトの八重樫を擁する仙商と代表をかけて争い、一対〇で惜敗するところまでいきました。

そして三年生、四六年夏の甲子園県予選。三回戦で仙商が気仙沼高に番狂わせの敗北を喫したあと、



46年夏の県予選の古高チーム(宮城球場)

われわれは仙台育英に九対二で七回コールド勝ちし、まれにみる大金星を挙げたのです。決勝では気仙沼を一点差で振り切り、東北高とともに福島県代表二校を相手に甲子園出場校を決める東北大会にわれわれが勿来工業に勝ち、東北高は磐城高に予想外にも逆転敗けしたため、決勝戦は古高対磐城。連戦のわれわれは疲労こんばいし、打撃練習で部長兼監督の沼倉先生がど真中に入れてくれるボールさえ、うまく打てず、沼倉投手はヒジを痛めての登板でした。七対一でゲームセット、行きたかった初の甲子園は逃がしました。だが、わがチームは「よくぞこまで勝ち進んだ」という充実感に満ちあふれ、胸を張って古川に戻りました。ちなみに、その磐城は甲子園で準優勝。敗れて悔なしの敵だったと言えるでしょう。

この東北大会には連日、八割も同期の学友が受験勉強を放り出して応援に駆けつけてくれ、「落ちたら野球部のせいだぞ」とからかわれたものです。実際には翌春、東北大に現役で十人ほどがボンボン入ったり、進学は全体的にもすこぶる好調でした。

その後、同期生の秋保君が東北工大、菊地君が宮教大で主将同士の対戦をしたり、慶大に進んだ一年後輩の佐々木治樹君は神宮球場でホームランをかつ飛ばし、ひそかに祝福したものです。

(S47・雄設計事務所代(縮役))

プロフィール



(44歳ごろ)

クジラを追った青春

多藤省徳さん

古中入学が世界大不況のさなかの昭和四年。卒業は九年だから満州事変勃発、五・二五事件、国際連盟脱退と日本の大激動期に中学時代を送ったことになる。たんばのど真中から海を目指し、函館高等水産(現、北大水産学部)を経て極洋捕鯨(現、極洋)に入社。

昭和一〇年代半ばに本格化した商業捕鯨のバイオニアとして活躍し、戦後は、海軍に徴用されて全船を失った同社の再建に挺身した。二人が船団長として参加したなど、持ち前の統率力に加え、卓抜なアイデアアマンぶりを発揮。例えば、捕鯨船団の大型船同士が横付けし、油や鯨肉を受け渡しする際、それまでシロナガス鯨数頭を、船体の損傷を避けるためのフェンダー(防舷材)にしていたが、これに代わるゴム製のフェンダーを創案した。今からみれば何でもないことのようにだが、現在、世界の海運、水産業界であまねく使用されているフェンダーの先駆けをなしたのである。

英国の潜水艦探知ソナーを捕鯨用に改良し、もぐったクジラを追跡して浮上したところをズドン。カンだけが頼りで、所在をつかむのに苦労した先進の大洋漁業や日本水産の船団をくやしからせた。こんな創意工夫で極洋を先発各社と肩を並べるところまで躍進させ、業界を刮目させたのである。

世界の捕鯨国が集まり、ヨロイドンでクジラを追う三八年の第一八次南水洋捕鯨オリンピックでは古中のクラスメイト、神戸高等商船(現、神戸商船大)卒で戦後、極洋に入社した青柳勲さん(在京同窓会事務局長)とそれぞれ船団を率いた。古中出身、しかも同期生二人が船団長として参加したなど、ギネスブックものか。「前代未聞、夢のようだ」と回想する。

若いころは酒豪だった。しょうちゆうを一斗ダルに仕込んで船に積み、チューチューやったことがあって飲み明かすのもしばしば。しかし、平然と会社に行き、「飲んで仕事に支障をきたしちゃいかん」と後輩に言い聞かせた。

一時期、捕鯨の現場を離れ、豪州との合弁エビ取り事業なども手がけ、極洋の基盤作りに貢献した。副社長で五二年退社。六〇年には商業捕鯨史の集大成である「捕鯨の歴史とキート」を著述、出版した。現在、極洋で、在京同窓会副会長。

Amenity Stage Creative
経ハウジングセンター

代表取締役 **小嶋 進**
 《古高47年度卒》

社団法人住宅産業開発協会会員
 〒146 東京都大田区東矢口3-2-1
 ☎ 03(730) 0431直通 Fax (735) 5584

時事通信社

世界の動きを日本へ
 日本の声を世界へ

思い想り



丈くらべ

伊藤 宗

行でした。時には一大集団を形成し、話に夢中になり油もたれ、話を聞いて居ります。今、生存して居るのが三人で、兄（古中三十三回卒、淳一）と弟（古高三回卒、昭介）の二人が田尻町に住んで居ります。

中学入学は大正十一年。入学早々身体検査があった。身長がなんと三尺九寸（尺貫法で失礼）。あまり恥しいので記録係の級長に頼んで四尺五分にもらった。翌年四月の身体検査、その時は四尺一分、先生曰く「伊藤は去年よりちぢまったぞ」。全く汗顔の至りであった。それから四年。東京の学校を受験して身体検査。計量の先生が「四尺八寸」と言うと、わきの先生が「えっ八寸」と言ってお上を見上げたが誰もいない。下を見て「なんだ四尺か」と大笑い。小生は笑えなかった。

古高は懐かしき母校であり、田尻町は良き故郷であります。

（S・12 ユパル電子株会長）

「市の歌」に

母校の想い

加藤 弘

徴兵検査（昭和六年）で甲種合格（五尺以上はあったということ）でヤレヤレというお粗末。

兄弟六人が
（S・2 講談社元常務）

古中、古高卒

佐々木 喬

多産系の家庭

に育ち、古中、古高合せて六人

がお世話になり

ました。当時、

私たちが田尻町出

身者は皆自転車通学するのが慣



身者は皆自転車通学するのが慣

真夜中の五輪中継

岡崎 裕哉

たった一度だけ、古高の校舎に泊まったことがある。

ミュンヘン・オリンピック開催中の昭和四十七年九月八日。校舎裏にある木造平屋の言論研究会部室だった。

古高祭で、ポスター展を企画、準備に追われていた。深夜、隣の応援団部室で、ラジオ中継が流れていた。男子バレー準決勝、対ブルガリア戦。セットカウント0-2から盛り返し、最終セットにラジオのまわりには、いつしか十人近い居残り組が集まり、眠む気も準備も忘れて、試合の行方に一喜一憂していた。鳥岡のスパイクが決まって、試合が終わったのは午前二時四十五分だった。

古高祭で、ポスター展を企画、準備に追われていた。深夜、隣の応援団部室で、ラジオ中継が流れていた。男子バレー準決勝、対ブルガリア戦。セットカウント0-2から盛り返し、最終セットにラジオのまわりには、いつしか十人近い居残り組が集まり、眠む気も準備も忘れて、試合の行方に一喜一憂していた。鳥岡のスパイクが決まって、試合が終わったのは午前二時四十五分だった。

後も別れ難く、約二五人が二次会に流れ出た。

●七〇年会 古高創立七〇周年のときに入学、一九七〇年（昭和四五年）卒業と、「七〇」の数字に縁があったことから会の名前にした在京同期会が五月二十七日、同期生の菅原強君が勤務する池袋のホテルメトロポリタンに二一人が集まって開かれた。大いに飲み、かつ語る大盛会で、「年一回の会にするには惜しいので、今年後半にまたやろう」との声も出た。

◆昭和九年卒同期会 八月二十六日 鳴子ビューホテルで開催されることになりました。

（同期会などの会合の結果や計画を事務局にお知らせください。会報に掲載します。）

会の歩み

63・11・4 常任理事会 十月十四日の総会の会計報告と年会費の納入状況報告を了承。かねて検討事項になっていた運営資金拡充のための募金については、まだその必要が認められないとして見送り、資金不足の場合、常任理事会が直ちに対応することを決定。会報第一号の年内発行を決定。

63・12・25 会報発行 一、五〇〇部を会員、母校、関係者に発送。

1・3・10 役員会 会報第二号の六月発行を決定。会員名簿の発行を急がず、確度を向上させることを申し合わせ。在京同窓会活動強化のため、組織強化委員会を設置を決め、委員長に片平司朗さんを選任。委員選任は

委員長一任とした。

1・4・15 組織強化に関する第一回懇談会（詳細は本会報に）

1・5・20 組織強化に関する第二回懇談会 昭和九年から四五年卒までの一五人が出席。次期総会の運営に三〇年代卒と四〇年代卒があたるとの意欲が表明された。

●三一会 昭和三二年卒の住所判明者約七〇人のうち三四人が二月四日、ホテルニュー神田で初めての同期会を開催。古川から千葉功さんも。会の名称を卒業の年にちなんで在京古高三二一会とし、毎年一回例会を開くことを決めた。

「心の琴の…」はもちろん、ありとあらゆる母校の歌をうたいまくって感激のひとときを過ごし、散会

◆会報と名簿への広告を募集してあります。事務局にご連絡ください。

◆次回第三号会報は、来年一月に発行の予定です。寄稿を歓迎します。

◆本会報の題字「螢雪」は伊藤宗一郎会長の書です。

事務局だより

◆今会計年度は昨年十月から今年九月。今年度分の未納会員は送金をお願いいたします。誤って既に二回納入された方の一回分は次期会計年度（今年十月―来年九月）に回します。次期年度の納入は不要です。

◆会報と名簿への広告を募集してあります。事務局にご連絡ください。

◆次回第三号会報は、来年一月に発行の予定です。寄稿を歓迎します。

◆本会報の題字「螢雪」は伊藤宗一郎会長の書です。

◆会報と名簿への広告を募集してあります。事務局にご連絡ください。

◆次回第三号会報は、来年一月に発行の予定です。寄稿を歓迎します。

◆本会報の題字「螢雪」は伊藤宗一郎会長の書です。

◆会報と名簿への広告を募集してあります。事務局にご連絡ください。

◆次回第三号会報は、来年一月に発行の予定です。寄稿を歓迎します。

◆本会報の題字「螢雪」は伊藤宗一郎会長の書です。

総会の 在京会員 出席者

(昭和63年10月14日)

(127人)

S 7 杉下 正策 鈴木 信男 門田 和夫 門間 高吉	S 8 及川 八郎 大場 正治 青柳 勲 伊藤 正雄 工藤 貞孝 多藤 省徳 新沢 直治 三浦 亮二 佐藤 巖 伊藤 武司	S 12 大宮 正義 佐藤 恂一 有信 伊藤宗一郎 今野 榮喜 高橋 淳夫 茂 佐藤 幸雄 高橋 厚 新沢 順悦 三浦 一夫 青沼 康男 加藤 弘 吉野 昭男 伊藤 幸也	S 20 筒野 了一 菅原 照男 高橋 昭典 高橋 助夫 森谷 角一 小野信一郎 佐々木廣治 倉沢健治郎 竹中 潤郎 半田 実 諸岡 久男 佐々木一司 佐藤 浩朗 門脇 健 三浦 澄能	S 25 加藤 忠 小松 陽一 正夫 佐藤 仁一 相原 芳仁 大沼 尊 豊原 博 三沢 吉満 佐々木国利 菅泉 実 高橋 通 春田 紘輔 高橋 三夫 引地 基雄	S 28 青沼 喜彦 門脇 隆夫 森本 山田 S 29 伊藤 小川 金子 康 佐藤 広 S 30 浅野 金六 門脇 敏明 小林 尚雅 佐藤 広喜 三浦 哲夫 相沢 昭男 片平 司朗	S 31 佐藤 勝 嘉男 章 尾崎 次美 S 32 草刈 公哉 佐藤 千葉 沼倉 和雄 後藤 健児 S 33 雁部 孝三 佐藤 重信 加藤 一路 佐藤 光一 直樹 出雲 義朗 貞司 S 35 梅津 征英	S 35 小原 正 大場 司 黒岩 弘一 佐々木武磨 鈴木 啓次 S 36 狩野 達郎 S 37 田口 正忠 阿部 孝 佐藤 陽彦 加藤 陸夫 千坂 孝夫 錦戸 正継 本田美喜夫 宮本 信夫 S 39 金原 克仁	S 40 古内 晋典 大友 泰司 S 41 二郷 英明 S 44 伊沢 正雄 高橋 修一 菅原 一強 富山 英洋 S 45 小林 和彦 S 47 相沢 司 小嶋 進 佐々木徳雄 中鉢 義則 佐々木正行 村岡 建二 S 53 我孫子 里美
--------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

でっかい地球が 私たちの職場です。

ニューヨークです。ロンドンです。モスクワです。
シドニーです。ヨハネスブルクです。サンパウロです。
蝶理は世界中で
よりよい明日をつくるために活躍しています。
新しい価値を創造するために
地球社会に根をはっています。
確かな情報とパワフルな組織力をもつ
蝶理だからできるのです。

時代を見つめ、歩み続ける商社



大阪本社 大阪市中央区瓦町 2-4-7
〒541 ☎ 06-228-5001
東京本社 東京都中央区日本橋堀留
〒103 町2-4-3 ☎ 03-665-2000
社長 今野 榮喜 (S・15修了)

コパル 電子株式会社

東京都港区虎ノ門1-17-1
電話 503-5591(代)

代表取締役会長 佐々木 喬

(昭・12卒)

入間事業所/埼玉県入間市新久下新田110-1
〒358 ☎ 0429(64)6161(代表)
田尻工場/宮城県遠田郡田尻町沼部字新堀81-1
〒989-43 ☎ 0229(39)0245(代表)
佐野メカトロセンター/栃木県佐野市赤見町2188
〒327-01 ☎ 0283(25)3111(代表)

プロが選りすぐり、

プロが磨きあげた食卓の味。



家にいながら買い物できる

カタログ・ストアです。



カタログご希望の方は

プラスワン株式会社

〒104 東京都中央区築地3-10-10(ナジコビル5F)
TEL.03-541-8711(代) FAX.03-545-0553

(当社は 極洋の全額出資による会社です)

我社は、栃木県小山市で
不動産業・建設業
を営んでいる
会社です。
御用命の節は
御一報を!!

山栄建設株式会社

代表取締役 小川 治 (S・39卒)

栃木県小山市大字小山76-1
TEL. 0285-27-2244(代)